





# 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

部長	政策監	課長	補佐	副参事	合議	担当
						

## 市民センター機能のあり方検討市長協議

報告日：平成26年10月28日

報告者：村田 洋亮

1 名称	市民センター機能のあり方市内市長協議
2 日時	平成26年10月28日(火) 13:00~
3 場所	秘書課特別応接室
4 配布資料	別添のとおり
5 出席者	市民部長・政策監、自治協働課長、行政改革推進課長、生涯学習課長、自治協働係長、担当
6 内容	以下のとおり

<協議メモ> 資料を基に市民部長より説明。以下、コメントを示す。

### 【市長より】

基幹支所を配置することについては一定、理解する。基幹支所でも正規職員3人を追加するのは厳しい。正規職員を0人にするくらいに検討してほしい。あと、公民館機能をどうしていくのか、中核市を中心とした他都市の事例を調べ示してほしい。今年度内に基礎資料をまとめあげ、平成27年度中に一定の結論を導き出してほしい。その際、外部への委員の意見を聞いてほしい。

### 【市民部長より】

外部委員だけで結論を出すべきではない、地域の方と議論をし、市の理念を持った上で市民センター機能に関する説明をしないといけないと思う。

### 【市長より】

説明をしていくのであれば、もう一度、スケジュール表を作り直してほしい。4月にお聞きしていたスケジュールから遅れてきたのかが理解できないので、庁内としての結論だけでなく、外部の意見を入れて結果を導き出してほしい。他の中核市と比べ、過剰なサービスを減らしていく必要があるのではないか検討願いたい。

### 【市民部長より】







当初のスケジュールと根本的に変わってきている。今回、中間報告としてまとめさせてもらった。

### 【市長より】

平成28年度予算編成に間に合うように一定の取りまとめをお願いしたい。なので、平成27年11月ごろまでに結論を導き出してほしい。

# 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

部長	政策監	課長	補佐	副参事	合議	担当
						

## 市民センター機能のあり方検討市長協議

報告日：平成26年10月28日

報告者：村田 洋亮

1 名称	市民センター機能のあり方市内市長協議
2 日時	平成26年10月28日(火) 13:00~
3 場所	秘書課特別応接室
4 配布資料	別添のとおり
5 出席者	市民部長・政策監、自治協働課長、行政改革推進課長、生涯学習課長、自治協働係長、担当
6 内容	以下のとおり

<協議メモ> 資料を基に市民部長より説明。以下、コメントを示す。

### 【市長より】

基幹支所を配置することについては一定、理解する。  
あと、公民館機能をどうしていくのか、中核市を中心とした他都市の事例を調べ示してほしい。今年度内に基礎資料をまとめあげ、平成27年度中に一定の結論を導き出してほしい。その際、外部への委員の意見を聞いてほしい。

### 【市民部長より】

外部委員だけで結論を出すべきではない、地域の方と議論をし、市の理念を持った上で市民センター機能に関する説明をしないといけないと思う。

### 【市長より】

説明をしていくのであれば、もう一度、スケジュール表を作り直してほしい。4月にお聞きしていたスケジュールから遅れてきたのかが理解できないので、庁内としての結論だけでなく、外部の意見を入れて結果を導き出してほしい。他の中核市と比べ、過剰なサービスを減らしていく必要があるのではないか検討願いたい。

### 【市民部長より】



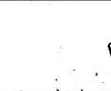




当初のスケジュールと根本的に変わってきている。今回、中間報告としてまとめさせてもらった。

### 【市長より】

平成28年度予算編成に間に合うように一定の取りまとめをお願いしたい。なので、平成27年11月ごろまでに結論を導き出してほしい。

# 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

部長	政策監	課長	補佐	副参事	合 議	担 当
						

## 市民センター機能のあり方検討の二役協議 議事録

報告日：平成26年12月3日

報告者：村田 洋亮

1 名称	市民センター機能のあり方庁内二役協議
2 日時	平成26年12月3日(水) 9:40~10:40
3 場所	市長室
4 配布資料	別添のとおり
5 出席者	市民部長・政策監、自治協働課長、行政改革推進課長、生涯学習課長、自治協働係長、事業管理係長、担当
6 内容	以下のとおり

越 市 長 : 時間もあまりないので10時過ぎくらいに終わるように簡単をお願いします。スケジュールは前にお聞きしているので、これでできるのかな?と感じております。

日比市民部長 : これのできるのかな、と言いますのは?

越 市 長 : 結論がある程度見えていないと委員会ってできないと思うのですが...

日比市民部長 : 外部委員会ですよね?結論につきましては、方向性としては今回の資料の29~30ページあたりに「方針、見直しの検討」を示させていただきました。表にまとめているのが資料31ページで、4つの機能である①支所機能②公民館機能③地域自治機能④防災機能という既存の4つの機能、これを地域の視点からと行政の視点からの方向性で、32ページの現状モデル、このパターン表を段階的にどう見直していくかを示していこうと思っております、見直しの方向性と再編パターンまでを出すのか出さないのか、具体的に基幹支所をどうするのか、そこまでの結論を導けるのかを検討しておりますところでございます。今回は一定、パターン提示で終わっておいてもよいかと思っておりますが...

越 市 長 : そうすると、私が思っている結論とはやっぱり違うのです。一つは、資料31ページの新規の機能という言い出しでぐちゃぐちゃになってくるというか、いろんなところでいろんな検討をしているので、機能見直しの目的というのは、基本的には縮小していく方向と考えているので、新規のところはもうそれぞれ別の施設でやっているの、子育てであれば高齢者もあるし、支所で今やっているわけでは

# 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

部長	政策監	課長	補佐	副参事	合 議	担 当
						

## 市民センター機能のあり方検討の二役協議 議事録

報告日：平成26年12月3日

報告者：村田 洋亮

1 名称	市民センター機能のあり方庁内二役協議
2 日時	平成26年12月3日(水) 9:40~10:40
3 場所	市長室
4 配布資料	別添のとおり
5 出席者	市民部長・政策監、自治協働課長、行政改革推進課長、生涯学習課長、自治協働係長、事業管理係長、担当
6 内容	以下のとおり

越 市 長 : 時間もあまりないので10時過ぎくらいに終わるように簡単をお願いします。

日比市民部長 :

越 市 長 :

日比市民部長 : 結論につきましては、方向性としては今回の資料の29~30ページあたりに「方針、見直しの検討」を示させていただきました。表にまとめているのが資料31ページで、4つの機能である①支所機能②公民館機能③地域自治機能④防災機能という既存の4つの機能、これを地域の視点からと行政の視点からの方向性で、32ページの現状モデル、このパターン表を段階的にどう見直していくかを示していこうと思っております、見直しの方向性と再編パターンまでを出すのか出さないのか、具体的に基幹支所をどうするのか、そこまでの結論を導けるのかを検討しておりますところでございます。

越 市 長 :

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

ないので、あえて追加していく必要はないかと思っています。その機能を今入れると議論が広がっていくので、もういいのかなと思うのですが…。

日比市民部長 : そうですか…。地域包括ケアシステムの構築は求められているし、中学校園域への移行という話が出ている中で、まさか地域包括支援センターを今後、建てていくなんてことはあり得ないと思っております…。

越市長 : 今後、場所も含めて全部民間委託でやっていくつもりをしております。

日比市民部長 : 場所も含めてですか？この市民センターは場所貸しとしても有りかなと思っておりましたが…。

越市長 : 高齢者支援についてはもう基本的に民間でやっていくという理解を私はしておりますので、その点の議論はいただかなくてもよいかと思えます。

日比市民部長 : そうしたら全くそういう機能を考えなくてもよいということではよろしかったでしょうか？

越市長 : もうそのほうがいいと思います。新規を考えるとまた議論が広がっていくから、そこはもういいかなと思います。既存の4つの機能をどのようにしていくか、代替機能をどのように持たせていくことかと思えます。資料32ページの「市民センターの現状のモデル」、資料34ページに「段階的な見直しのイメージ」があるが、この第一段階と第二段階があつて、第一段階に簡易支所機能があつて、第二段階でそれがなくなるという理解でよかったですか？

日比市民部長 : これはまだ整理しないといけないですが、今は一括方式でやっている支所サービスを、コンビニ交付も始まったことを意識し、第一段階から証明書の発行などは支所でやる必要もないだろうということできくと、基幹的なところで届出等のサービスも実施して、通常の支所ではそういう支所機能をなくすという形に持っていったらいいかと思えますし、まずは第一段階、今の段階では残した状態です。でも、それはまだまだもう一度詰めてみたいと思っております。

越市長 : これ(第1段階:簡易支所機能)がなければ、一気にこっち(第2段階:基幹支所機能統合型)にいけばもうなくなるわけですね。

日比市民部長 : その考え方もあると思います。

越市長 : そこはこれ(第1段階:簡易支所機能)がある意味があんまりないかと思えます。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

証明書発行が残るだけですので、代替機能があるのであれば、第二段階に一気に移ってもいいのかなと思います。

日比市民部長 : たたき台として提案しておりますので、こういう形になっているんですが、それは今後検討していてもよいかと思います。次の35ページが「まちづくり機能と地域自治機能」というものの段階を表しています。地域に学区自治連や各種団体があるところに対して、まちづくり協議会というものを構築して、そこに指定管理や委託をしていくことを段階的に示したものです。

越市長 : 別にまちづくり協議会がなくてもかまわないですよ？あるのとないで何が変わるのですか？

日比市民部長 : 市民センターの公民館機能を存続させるために今後、地域で構成されるまちづくり協議会に対して、業務委託をしていくという体制の違いです。地域が受け皿として可能かどうかは今後、考える必要があるかと思っています。

越市長 : これは地域の問題と考えてよかったですか？

日比市民部長 : 地域の問題です。更に防災機能などもどう考えていくのかということが、今回はまだ触れていないですが、四つの機能のうち、支所機能とかはもちろん考えやすいですが、公民館機能も教育委員会の関係もあり、まだ十分に議論が出来ていない状況です。防災機能もこれも一つ問題提起として挙げなければならない問題かと思っています。

越市長 : 防災機能は見直したほうがいいと思います。職員配置の問題ですが、葛川支所を例に挙げると、支所長が災害の際、すぐに待機できていないということが問題だと思います。前回は市民センターの鍵を支所長が所持しているから行けないという問題があります。そうすると、市民センターの機能が発揮できなくなってしまうので、支所長は違うところに住むと、管理上望ましくないと思います。地域防災はあくまで地元住民の方にある程度任せてしまう方がよいかと思います。消防団等やそこに住んでいる人に任せないと、孤立したところに後から別の地域に住んでいる支所長も現場に行けないですから、地元の消防団や防災会、その地域に住んでいる市職員にお願いするとかしないといけないかと思っています。

日比市民部長 : その意向を踏まえると地域防災計画に影響するので、防災機能はおっしゃられるような形で見直していきたいと思います。危機・防災管理課の管理監も検討会議のメンバーに入れていますので、もう少し掘り下げていかないといけないなと思っております。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

日比市民部長 : たたき台として提案しておりますので、こういう形になっているんですが、それは今後検討していてもよいかと思います。次の35ページが「まちづくり機能と地域自治機能」というものの段階を表しています。地域に学区自治連や各種団体があるところに対して、まちづくり協議会というものを構築して、そこに指定管理や委託をしていくことを段階的に示したものです。

越市長 :

日比市民部長 : 市民センターの公民館機能を存続させるために今後、地域で構成されるまちづくり協議会に対して、業務委託をしていくという体制の違いです。地域が受け皿として可能かどうかは今後、考える必要があるかと思っています。

越市長 : これは地域の問題と考えてよかったですか？

日比市民部長 : 地域の問題です。更に防災機能などもどう考えていくのかということが、今回はまだ触れていないですが、四つの機能のうち、支所機能とかはもちろん考えやすいですが、公民館機能も教育委員会の関係もあり、まだ十分に議論が出来ていない状況です。防災機能もこれも一つ問題提起として挙げなければならない問題かと思っています。

越市長 :

日比市民部長 : その意向を踏まえると地域防災計画に影響するので、防災機能はおっしゃられるような形で見直していきたいと思います。危機・防災管理課の管理監も検討会議のメンバーに入れていますので、もう少し掘り下げていかないといけないなと思っております。

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長： 鏡の問題等がある以上、今の体制は良くないと思います。

日比市民部長： 既存の四つの機能について、見直す点など掘り下げをさせていただいて、今市長がおっしゃられたように、防災機能などについては我々もそう思っておりますし、それを消防局や危機・防災管理課とも情報共有した中で地域防災計画を見直さなくてはいけないと思いますし、方向付けを今回のまとめの中でしていきたいなと思います。もう少し整理させていただいて、支所機能と公民館機能は教育委員会との関係もあって協議は一緒にしていますが、比率がここでは正直少ないかと思しますので、もう少し教育委員会とも調整して整合を図ってきたいと思います。

越市長： 結局、最終的には市民センターは基幹市民センターだけになる(34 ページの下の図)と理解しておりますが、よろしいですか。36 ページ以降の図というのは、全部市民センター、簡易市民センターなど、基幹市民センター以外も残るという図になっていますけれども、違いますか？

日比市民部長： 地域自治機能や防災機能を活かした体制が必要かと思えます。

越市長： 36 ページ「基幹市民センター設置型」というのは、このまわりの市民センターが全部なくなるという感じですが違いますか？

日比市民部長： そうではありません。仮になくなってしまったら周りの地域自治機能、防災機能はどうするとお考えですか？

越市長： 最終的に基幹市民センター設置型にするということはやっぱりまわりの市民センターを全部なくすことだと思います。その部分をまさに地域の人に担ってもらうということで、職員はなくしていくという体制づくりが必要かと思っています。

日比市民部長： そうするとその館(やかた)も？

越市長： 公民館機能として残ることはあると思いますが、活動拠点としての市民センターというのはなくしていけばよいかと思えます。

日比市民部長： それは、「支所機能」にある「証明発行」という業務さえ取れば、ここはなくすことが出来ます。

越市長： そうですね。公民館機能は教育委員会で検討すればよいと思います。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長： [REDACTED]

日比市民部長： 既存の四つの機能について、見直す点など掘り下げをさせていただいて、今市長がおっしゃられたように、防災機能などについては我々もそう思っておりますし、それを消防局や危機・防災管理課とも情報共有した中で地域防災計画を見直さなくてはいけないと思いますし、方向付けを今回のまとめの中でしていきたいなと思います。もう少し整理させていただいて、支所機能と公民館機能は教育委員会との関係もあって協議は一緒にしていますが、比率がここでは正直少ないかと思しますので、もう少し教育委員会とも調整して整合を図ってきたいと思います。

越市長： [REDACTED]

日比市民部長： 地域自治機能や防災機能を活かした体制が必要かと思えます。

越市長： [REDACTED]

日比市民部長： [REDACTED]

越市長： [REDACTED]

日比市民部長： [REDACTED]

越市長： [REDACTED]

日比市民部長： それは、[REDACTED]

越市長： そうですね。公民館機能は教育委員会で検討すればよいと思います。

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

日比市民部長 : それは39ページ(の図)にございます。39ページには支所の証明発行などは省いております。基幹支所だけで運営します。防災機能とその地域自治機能をサポートするセンター長ということで職員1名を配置しております。あと、公民館機能もいわゆる生涯学習専門員を1名配置して計2名体制で臨むというイメージで示しております。

越市長 : 防災機能なども職員で担うという理解でよろしかったでしょうか？

日比市民部長 : はい。一応、職員として担ってもらいます。ただ、全て地域に任せていくという体制も検討可能かと思えます。なのでその話を危機・防災対策課にも進めさせていただく中で、この39ページの図を軸に考えていきたいと思えますが、よろしかったでしょうか。

越市長 : 公民館機能については教育委員会が考えるかと思いますが、職員が一人も残らないというパターンもあるのですか？他都市はどのような体制にしているのでしょうか？

日比市民部長 : 職員一人も残らないパターンというのは、公民館もありますからどうしていくかを検討していく必要があります。最後の41ページ(「基幹市民センター設置・地域自治強化型」)を見ていただいたら、これが地域にまちづくり協議会を立ち上げて、指定管理制度を導入し、1名だけ「まちづくり支援」ということで配置しております。公民館機能を社会教育法上の公民館として維持するのかどうかという点も踏まえた上で、職員1名を配置している状況です。

越市長 : この職員1名は公民館運営を兼ねるということですか？

日比市民部長 : そうです。

越市長 : 他都市において市民センターのような施設は防災機能や地域自治機能という点は誰がどのように担っている状況ですか？

日比市民部長 : 私の知る限り大津のような市民センター施設は非常に珍しいと思います。通常支所というのは地方自治法の支所で、総合庁舎的にいろんな部署があったりして、数は少ない状況です。平成の大合併でこういう支所が非常に多くなり、統廃合はなされずに運営されていると思います。おそらく証明発行だけをやっているような所は他都市でもサービスセンターや出張所という位置付けでやられており、支所にて防災機能もあり公民館もあり、地域のまちづくり機能も持つ

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

日比市民部長 : それは39ページ(の図)にございます。39ページには支所の証明発行などは省いております。基幹支所だけで運営します。防災機能とその地域自治機能をサポートするセンター長ということで職員1名を配置しております。あと、公民館機能もいわゆる生涯学習専門員を1名配置して計2名体制で臨むというイメージで示しております。

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 : 公民館機能については教育委員会が考えるかと思いますが、職員が一人も残らないというパターンもあるのですか？他都市はどのような体制にしているのでしょうか？

日比市民部長 : 職員一人も残らないパターンというのは、公民館もありますからどうしていくかを検討していく必要があります。最後の41ページ(「基幹市民センター設置・地域自治強化型」)を見ていただいたら、これが地域にまちづくり協議会を立ち上げて、指定管理制度を導入し、1名だけ「まちづくり支援」ということで配置しております。公民館機能を社会教育法上の公民館として維持するのかどうかという点も踏まえた上で、職員1名を配置している状況です。

越市長 : この職員1名は公民館運営を兼ねるということですか？

日比市民部長 : そうです。

越市長 : 他都市において市民センターのような施設は防災機能や地域自治機能という点は誰がどのように担っている状況ですか？

日比市民部長 : 私の知る限り大津のような市民センター施設は非常に珍しいと思います。通常支所というのは地方自治法の支所で、総合庁舎的にいろんな部署があったりして、数は少ない状況です。平成の大合併でこういう支所が非常に多くなり、統廃合はなされずに運営されていると思います。おそらく証明発行だけをやっているような所は他都市でもサービスセンターや出張所という位置付けでやられており、支所にて防災機能もあり公民館もあり、地域のまちづくり機能も持つ

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

ているような施設は大津市が特異な例だと思います。

越市長：最後の表(41ページ)であっても、防災機能と地域自治機能は結構残るようになっています。他の都市ではどうようにして小学校区単位で担われているのか。

山本管理者：小学校区単位という考えはないです。〇〇区という区民センターというのがあります。そこは区民の健康診断でバスが来たりすることはあります。証明書の発行もあります。まちづくりとかやってないかと思えます。よくわかりませんが。数はもちろんこんなに多くないかと思えます。

越市長：他都市はこの防災機能や地域自治機能はやっていないんですか？

日比市民部長：昨年、他都市に照会かけた結果はどうでしたか？

自治協働課野村副参事：防災機能にかかる照会はしていないと思えます。

日比市民部長：防災機能ではなく、市民センターについての他都市の状況調査については、多いのは簡易な証明発行、総合窓口、ワンストップサービスです。ところが防災機能を省いているとは思えません。地域自治機能は自治連合会などがありますし、先般、視察へ行かせていただいた朝来市をみると、地域の方が自主運営をしているような形でして、イメージとして村役場を運営されているような形です。もう少し調査しようと思っております。

越市長：そうすると、他を参考にすると、ここの防災機能も地域自治機能も地域住民の方がやっていていただいて、市民センター機能として、なくすことができませんか？

日比市民部長：実質、地域自治機能と表記していますが、場所・拠点だけの位置づけにしております。外郭団体や外部団体の事務を手放していくという基本的なスタンスでおりますので、学区の半分はそうして自立していただいておりますので、まだ半分の学区は課題がありますが、そういったことから言うと、市民センターを拠点に活動していただいているという意味です。防災機能についても市民センターを拠点にしているという状況です。あくまで一次的な避難場所として、担っているのが中心です。

伊藤副市長：その地域で何人かついてもらって、その人たちに公民館の運営とかを任せちゃうようなこともあると思えますけど、いかがですか？

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

ているような施設は大津市が特異な例だと思います。

越市長：最後の表(41ページ)であっても、防災機能と地域自治機能は結構残るようになっています。他の都市ではどうようにして小学校区単位で担われているのか。

山本管理者：小学校区単位という考えはないです。〇〇区という区民センターというのがあります。そこは区民の健康診断でバスが来たりすることはあります。証明書の発行もあります。まちづくりとかやってないかと思えます。よくわかりませんが。数はもちろんこんなに多くないかと思えます。

越市長：他都市はこの防災機能や地域自治機能はやっていないんですか？

日比市民部長：昨年、他都市に照会かけた結果はどうでしたか？

自治協働課野村副参事：防災機能にかかる照会はしていないと思えます。

日比市民部長：防災機能ではなく、市民センターについての他都市の状況調査については、多いのは簡易な証明発行、総合窓口、ワンストップサービスです。ところが防災機能を省いているとは思えません。地域自治機能は自治連合会などがありますし、先般、視察へ行かせていただいた朝来市をみると、地域の方が自主運営をしているような形でして、イメージとして村役場を運営されているような形です。もう少し調査しようと思っております。

越市長：そうすると、他を参考にすると、

日比市民部長：実質、地域自治機能と表記していますが、場所・拠点だけの位置づけにしております。外郭団体や外部団体の事務を手放していくという基本的なスタンスでおりますので、学区の半分はそうして自立していただいておりますので、まだ半分の学区は課題がありますが、そういったことから言うと、市民センターを拠点に活動していただいているという意味です。防災機能についても市民センターを拠点にしているという状況です。あくまで一次的な避難場所として、担っているのが中心です。

伊藤副市長：その地域で何人かついてもらって、その人たちに公民館の運営とかを任せちゃうようなこともあると思えますけど、いかがですか？

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

日比市民部長 : それはあります。公民館運営については、先ほど言いました「まちづくり協議会」が指定管理を受けて運営しています。その場合、ほとんどが貸し館です。自主事業にてやっておられるところはあるかもしれませんが、社会教育法上の公民館という位置付けではなしに貸し館主体であるように聞いています。それをその地域の団体が利用されて活動されたいので、生涯学習の観点をどうしていくのか、市政としての考えを示す必要があるのではないかと思います。文化連盟、文化団体、文化協会等を中心に文化祭など自主的に進められている学区もたくさんありますので、今後どうしていくかを検討する必要があります。

自治協働課河原課長 : 地元の仕事が受けられる団体として自立ができるかどうかを見据えていくことも重要かと思えます。結局、人を引き上げることで市の人件費を抑えたとしても、今度は自立して館や組織を運営するための補助金や人件費をくださいというお話になった時に、仕事量は落ちるかもしれませんが、結局、そういったものを維持させるために資金提供していかないといけないという課題に残っていくと思えます。最終的に人的、場合によると資金的だけでなく、人的支援をとということになる。今、市民センターはそういう使われ方をしている学区もありますので、職員の移動やいろんなことが出てくるのは、結局そこに頼ってしまっているからだと思えます。その部分も考えて受けられる団体に育てないといけない。それはまちづくり協議会や新しい組織をきちんと作って、その資金運営や組織運営を含めて検討していくことが重要かと思えます。

山本管理者 : 他の自治体で、今あなたが言ったような外部委託するというのを調べたのですか？

自治協働課河原課長 : はい、東近江市などまちづくり協議会が存在している自治体については調べました。

山本管理者 : いや、県外自治体です。県外の他の自治体で問題点を金銭の問題など調べて言うならいいけれども、ここだけの話で今のようなことを言われても、言わんとすることはわかる…のように聞こえちゃうよね。うちの浄水場も5箇所全部、運転管理は外部委託をしていますから、外部委託が出来ないわけではないかと思えます。もう少し調べてみてはどうですか。人員を減らす目的は、財政の問題が根本にあるわけですし、もし、あなたが言われたとおりなら、財政的にはあまりメリットがないと思えます。不満だけ出てくるならまた別の方法を考えないといけないと思えます。

日比市民部長 : 市長、この市民センター機能のあり方については、年度内にまとめるつもりですが、今年度まとめる中でどこまで打ち出したらよろしいでしょうか？

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

日比市民部長 : それはあります。公民館運営については、先ほど言いました「まちづくり協議会」が指定管理を受けて運営しています。その場合、ほとんどが貸し館です。自主事業にてやっておられるところはあるかもしれませんが、社会教育法上の公民館という位置付けではなしに貸し館主体であるように聞いています。それをその地域の団体が利用されて活動されたいので、生涯学習の観点をどうしていくのか、市政としての考えを示す必要があるのではないかと思います。文化連盟、文化団体、文化協会等を中心に文化祭など自主的に進められている学区もたくさんありますので、今後どうしていくかを検討する必要があります。

自治協働課河原課長 : 地元の仕事が受けられる団体として自立ができるかどうかを見据えていくことも重要かと思えます。結局、人を引き上げることで市の人件費を抑えたとしても、今度は自立して館や組織を運営するための補助金や人件費をくださいというお話になった時に、仕事量は落ちるかもしれませんが、結局、そういったものを維持させるために資金提供していかないといけないという課題に残っていくと思えます。最終的に人的、場合によると資金的だけでなく、人的支援をとということになる。今、市民センターはそういう使われ方をしている学区もありますので、職員の移動やいろんなことが出てくるのは、結局そこに頼ってしまっているからだと思えます。その部分も考えて受けられる団体に育てないといけない。それはまちづくり協議会や新しい組織をきちんと作って、その資金運営や組織運営を含めて検討していくことが重要かと思えます。

山本管理者 : 他の自治体で、今あなたが言ったような外部委託するというのを調べたのですか？

自治協働課河原課長 : はい、東近江市などまちづくり協議会が存在している自治体については調べました。

山本管理者 : いや、県外自治体です。県外の他の自治体で問題点を金銭の問題など調べて言うならいいけれども、ここだけの話で今のようなことを言われても、言わんとすることはわかる…のように聞こえちゃうよね。うちの浄水場も5箇所全部、運転管理は外部委託をしていますから、外部委託が出来ないわけではないかと思えます。もう少し調べてみてはどうですか。人員を減らす目的は、財政の問題が根本にあるわけですし、もし、あなたが言われたとおりなら、財政的にはあまりメリットがないと思えます。不満だけ出てくるならまた別の方法を考えないといけないと思えます。

日比市民部長 : 市長、この市民センター機能のあり方については、年度内にまとめるつもりですが、今年度まとめる中でどこまで打ち出したらよろしいでしょうか？



## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長：今回報告していただいたところをもう少し整理していただいて、もう少し他都市の状況分析を入れていただいたら、結構です。どういうふうに他都市で実施されているのか検討してほしいです。

日比市民部長：資料4ページの図ですが、北から順にマップにて半径500メートル圏内の市民センター施設の位置関係を示しました。中心部を見ますと、はじめ2キロくらいの直径でやらないといけないかなと思っていたら重なってしまいます。ということでいくと、直径1キロ、500メートルの半径でこのような状況になります。これは検討資料として付けているのですが、こういったものと、このエリアに占める人口と、高齢者の数などそういったもので、また証明や届出とかどんな所に必要かも検討していけたらと思っております。

越市長：そうですね、そういう方向性を書いていったらいいと思います。

日比市民部長：というのが3月末までにあった方がいいですか？

越市長：ある程度あったほうがいいと思います。

日比市民部長：今は資料で持っておいて検討して、というスタンスでパターンだけに留めると…じゃあ検討します。

越市長：私は基幹市民センターを7つにするなどの結論を出すのが一番だと思っております。

日比市民部長：それは今年度内に結論を出してしまうということですか？

越市長：結論があればよいのかなと思いますが、ここに書いてもらっているような形でお願いできればと思います。

日比市民部長：その表のエリアごとの人口などいろんな状況を見ながら数値的にここにはこういう施設でいいとか、そういうようなこともあるので、後は距離ですよね、あまりにも近いとか…。

伊藤副市長：市民部長が言っているのは、いわゆる市民センターの施設の適正配置です。他の公共施設マネジメントで悩んでいるまさに大津市全体を見回した時にどのくらいのところにどこまで必要かという…。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長：今回報告していただいたところをもう少し整理していただいて、もう少し他都市の状況分析を入れていただいたら、結構です。どういうふうに他都市で実施されているのか検討してほしいです。

日比市民部長：資料4ページの図ですが、北から順にマップにて半径500メートル圏内の市民センター施設の位置関係を示しました。中心部を見ますと、はじめ2キロくらいの直径でやらないといけないかなと思っていたら重なってしまいます。ということでいくと、直径1キロ、500メートルの半径でこのような状況になります。これは検討資料として付けているのですが、こういったものと、このエリアに占める人口と、高齢者の数などそういったもので、また証明や届出とかどんな所に必要かも検討していけたらと思っております。

越市長：そうですね、そういう方向性を書いていったらいいと思います。

日比市民部長：というのが3月末までにあった方がいいですか？

越市長：ある程度あったほうがいいと思います。

日比市民部長：今は資料で持っておいて検討して、というスタンスでパターンだけに留めると…じゃあ検討します。

越市長：[REDACTED]

日比市民部長：それは今年度内に結論を出してしまうということですか？

越市長：結論があればよいのかなと思いますが、ここに書いてもらっているような形でお願いできればと思います。

日比市民部長：その表のエリアごとの人口などいろんな状況を見ながら数値的にここにはこういう施設でいいとか、そういうようなこともあるので、後は距離ですよね、あまりにも近いとか…。

伊藤副市長：市民部長が言っているのは、いわゆる市民センターの施設の適正配置です。他の公共施設マネジメントで悩んでいるまさに大津市全体を見回した時にどのくらいのところにどこまで必要かという…。

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長：ただ別に建物を無くすわけではないので、人を減らしていくという姿勢を示そうと思っています。

伊藤副市長：ただ、支所機能としてはなくなってしまうという観点から建物を残すか残さないかはまた別の議論になると思います。そういう意味で、支所としてなくしていくことからすれば、機能上は適正配置の問題です。それをかなり明確になるような形で書くのであれば、ここだけの内部検討だけでいいのかなと思います。

越市長：だから外部検討があるのだと思います。5月からやるので市民病院の検討委員会と同じですが、ハッキリと方針を書いていますので、それがないと外部委員会には任せられないし、それを明確に示し、それを外部委員会に諮るということが必要かと思っています。

山本管理者：いろんな分析を見ると利用率がかなり低いように思われますが、本当に市民センターは全ての学区に要するのですか？人員もこんなに要らないかと思うのですが、いかがでしょうか。それを削っただけでも人件費はかなり減るかと思っています。

日比市民部長：分析結果では明らかに数値で出ております。本当に市民センターごとに職員一人当たりの取扱量などは一目瞭然です。

伊藤副市長：正直、市民センターの業務については、おそらくデータに表れない部分などがあり、いろいろ今まで30年培ってきたものがあるかと思っています。その辺は幼稚園のあり方などと一緒で、こういうことだからある観点にいくとやっぱりもう少し考えていかないといけませんよね、というところからこれまでの議論になってきたのではないかと思います。なので、本当はそういう点を踏まえた上で、議論が必要なんじゃないかなという気がします。

越市長：まだ、時間があるのでこの資料に入れられると思います。最終的にこの検討結果に「7個」という結論を入れないと外部委員会にかけられないので入れるべきだと思います。おっしゃっている足りない部分を入れればいいと思いますが、どうですか。

伊藤副市長：私もそこまでよく見ていないのですが、委員会みたいのところにかけて、少しずつ議論してきた経緯があります。例えば、公共施設マネジメントにしたって外部委員会に諮りながら、いろんなこと積み重ねてきていますよね？その議論が全然ない中で適性配置までこの検討資料で組み込むのは難しいのではないかと思います。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長：

伊藤副市長：ただ、支所機能としてはなくなってしまうという観点から建物を残すか残さないかはまた別の議論になると思います。そういう意味で、

越市長：

山本管理者：

日比市民部長：分析結果では明らかに数値で出ております。本当に市民センターごとに職員一人当たりの取扱量などは一目瞭然です。

伊藤副市長：正直、市民センターの業務については、おそらくデータに表れない部分などがあり、いろいろ今まで30年培ってきたものがあるかと思っています。その辺は幼稚園のあり方などと一緒で、こういうことだからある観点にいくとやっぱりもう少し考えていかないといけませんよね、というところからこれまでの議論になってきたのではないかと思います。なので、本当はそういう点を踏まえた上で、議論が必要なんじゃないかなという気がします。

越市長：

おっしゃっている足りない部分を入れればいいと思いますが、どうですか。

伊藤副市長：

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長：でも幼稚園・保育園のあり方については結局、同時に検討してやっているの、ある程度これでもちゃんと委員会を作ってやっているわけですね。これも3回目ですね。そういう意味では大津市民病院の独立行政法人化の案件と同じです。外部委員会に出すにはある程度内部できっちりと出すべきかと思ひますし、議論が足りないところがあるのであれば、その内容も盛り込んだ上で外部委員会に出さないといけないかと思ひます。

伊藤副市長：議論が足りないというより、おそらく検討方式のことに指摘を受けるのではないかと思ひます。例えば、幼稚園・保育園のあり方の話についても、じわじわと地元の代表の方が入った中で、議論が進んでいってこういう方向になっていくというのが浸透したのかと思ひますが、いかがですか？

越市長：あれはそうでもないかと思ひます。あの議論はいきなり始めたというよりは内部検討の結果を外部委員の意見を聞くという形でやっていると思ひます。

伊藤副市長：この市民センター機能のあり方については、市民生活に直結している案件ですので、多分幼稚園・保育園のあり方の話と一緒に思ひます。そのところで外部委員の意見を言う場をこれから設けますという形をある程度このようなスケジュールで出してしまうのは大丈夫かなという危惧しております。

日比市民部長：今副市長がおっしゃるように、市民の方の受け取り方とかも考慮していく必要があるのかと思ひます。

越市長：伊藤副市長がおっしゃる方向性について、どのようにしたらいいか教えていただけますか？

伊藤副市長：これはこれで“こんなあり方”ということで出さないで、その個々の施設でどこがなくなっていくかというのが類推できないような形にするのがいいかと思ひます。

越市長：そうですね、それはしないですね、7つというだけで。

伊藤副市長：でも、検討資料を見ていくと自然とわかるかと思ひます。また、そういうようにやるよという宣言にもとらえることができますので、その点は留意しないといけないかと思ひます。

越市長：幼稚園・保育園のあり方についても最初に教育委員会内で幼稚園の適正人数を決めました。その時は確か、1つの幼稚園に対して園児22～25人と誰にも言わずに

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長：でも幼稚園・保育園のあり方については結局、同時に検討してやっているの、ある程度これでもちゃんと委員会を作ってやっているわけですね。これも3回目ですね。

伊藤副市長：

越市長：

伊藤副市長：この市民センター機能のあり方については、市民生活に直結している案件ですので、多分幼稚園・保育園のあり方の話と一緒に思ひます。

日比市民部長：今副市長がおっしゃるように、市民の方の受け取り方とかも考慮していく必要があるのかと思ひます。

越市長：伊藤副市長がおっしゃる方向性について、どのようにしたらいいか教えていただけますか？

伊藤副市長：これはこれで“こんなあり方”ということで出さないで、

越市長：

伊藤副市長：でも、検討資料を見ていくと自然とわかるかと思ひます。また、そういうようにやるよという宣言にもとらえることができますので、その点は留意しないといけないかと思ひます。

越市長：幼稚園・保育園のあり方についても最初に教育委員会内で幼稚園の適正人数を決めました。

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

勝手に教育委員会が決められているかと思いますが、これと同様にだいたい処理量がこれぐらいないといけないとか、そういう方向性から決めるとかかかと思えます。

伊藤副市長 : 機能上こういうことになってきますよというような話はいいと思えます。考え方としてはこうですよというのはいいと思うのですが、たちまちこの市民センターを廃止するかという話につながるような話を今出すと話がまずいとなってしまう、という意味ですよ。

日比市民部長 : そうです。それで市長の思いがどうなのかなと思ひまして、「この場所が基幹市民センターですよ」ということまで、この検討資料で打ち出す予定でしたでしょうか？

越市長 : いえ、そこまでは言わなくて結構です。

日比市民部長 : そういうことですよ、それは言わないですよ。

山本管理者 : この歴史を見れば時間かけ過ぎだよ。

日比市民部長 : そうです、おっしゃるとおりです。ずっと課題は課題できて…。

山本管理者 : これを続けることによって財政がどんどん厳しくなっている。

日比市民部長 : 今回、相当ここで集大成してきたと思うんです。

越市長 : 今回はやっていただいたので。だから「7」というのを出してもいいと思うんですが。

日比市民部長 : 「7」つという数字を出すのですか。

越市長 : 「7」つという数字を出して、どこの市民センターをなくすかについては報告しないつもりです。

日比市民部長 : しかしながらこの資料を見ていただきますと、本当に遠隔地での証明発行や届出をなくしたら困りますよね。

越市長 : でも、実際使っていないですよ？

日比市民部長 : いや、使っていないことはないです。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

伊藤副市長 : 機能上こういうことになってきますよというような話はいいと思えます。考え方としてはこうですよというのはいいと思うのですが、

日比市民部長 : そうです。

越市長 :

日比市民部長 :

山本管理者 :

日比市民部長 :

山本管理者 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

越市長 :

日比市民部長 :

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長：でもやっぱり結局は職員を置くかどうかは届出数で見るわけですよね？

日比市民部長：でも他に代替手段がないということになればそれは考えないといけませんよね。

山本管理者：コンビニを利用したらよいのでは？

日比市民部長：コンビニがあっても、住基カードがないと証明書が取れません。高齢者の方が多いとコンビニ利用が少ないのが実態です。

越市長：高齢者が実際にそんなに証明書を取らないですよね？

日比市民部長：少ないけれども取っていますよね？資料 16 ページ記載の数字で届出受理件数 13.8 ですし、証明書発行件数も 94 という数字が出ています。

越市長：大津市は全体件数が少ないですよね。他都市で見ればもっとあるかと思えます。

日比市民部長：これで市全体の 7 割での処理件数です。

越市長：全体が少ないのでこの中でみて、多い、少ないという議論をしても結論が出ないかと思えます。

伊藤副市長：なので、その議論をするならば、適正配置を考える時にどこをなくすかどこを残すかという方針を示していかないと難しいかと思えます。

日比市民部長：違うんです、今 7 つとかいう数を出すとするとそういう選定の議論が出てきます。

伊藤副市長：それは基幹の話であってどこまでの…。

日比市民部長：それを出すのか出さないのかを聞いているんです、今年度の 3 月で。

伊藤副市長：だから基幹で「7」を出した時に、それがたちまち遠隔地であっても、なくしますという議論になっちゃう？

日比市民部長：そう受けとれますよね。

伊藤副市長：それは基幹市民センターという世界ですよね？その後でそれにくっ付いているいわゆる市民センターという部分、基幹じゃなくなる部分について、どのような機

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

山本管理者：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

越市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

越市長：大津市は全体件数が少ないですよね。他都市で見ればもっとあるかと思えます。

日比市民部長：これで市全体の 7 割での処理件数です。

越市長：全体が少ないのでこの中でみて、多い、少ないという議論をしても結論が出ないかと思えます。

伊藤副市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

伊藤副市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

伊藤副市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

伊藤副市長：それは基幹市民センターという世界ですよね？その後でそれにくっ付いているいわゆる市民センターという部分、基幹じゃなくなる部分について、どのような機

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

能になっていくかというのはこの中に書いてあるので…

越市長：基本的に証明発行機能はなくなるということですか？

日比市民部長：届出、証明発行、公金収納がなくなるんです。

伊藤副市長：例えば、コンビニと一緒に機械を置くとか？

日比市民部長：置いておいても証明発行しかできないです。届出も受付できないです、保険やら年金やらの手続きについても出来ません。

越市長：でもそれは来てもらうしかないんじゃないですか？

山本管理者：そこで受け付けて、婚姻届けみたいに夜中でも24時間受理しますと。

日比市民部長：どこですか？職員が？

山本管理者：わざわざ夜中に持ってこなくていいんじゃない、そんなもの。

越市長：最初のやつだと、結局、職員が一人残る形ですよ？

伊藤副市長：41ページだったら、あったとしても遠隔地には残るといって、そこに証明発行(黄色の部分)が入っていないということ？黄色の部分が入ったらそれは基幹市民センターになる？

日比市民部長：基幹市民センターになるかという考え方をするかです。全ての機能を市民センターにそれだけ職員がたくさん要するとは思いませんけれども。そういう基幹市民センターとまでは言わないけれども、地域が孤立している等の状況からおそらく遠隔地には当面その機能を持たせておくとか、そういうことが段階的に必要じゃないかなと。

伊藤副市長：段階的にそうなんだけれども、個々の事情のところまで踏み込んでやる話かな…。

日比市民部長：じゃないんですが、その「7」という話になってくると、受け取る側が、住民の皆さんが「自分のところは…」と、おらが村の話になりますので、それを心配しただけです。ですから、今お答えいただかなくてもいいんですが、どこまで議論するべきか。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

能になっていくかというのはこの中に書いてあるので…

越市長：基本的に証明発行機能はなくなるということですか？

日比市民部長：届出、証明発行、公金収納がなくなるんです。

伊藤副市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

越市長：[REDACTED]

山本管理者：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

山本管理者：[REDACTED]

越市長：[REDACTED]

伊藤副市長：41ページだったら、あったとしても遠隔地には残るといって、そこに証明発行(黄色の部分)が入っていないということ？黄色の部分が入ったらそれは基幹市民センターになる？

日比市民部長：基幹市民センターになるかという考え方をするかです。[REDACTED]

伊藤副市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

## 2015年6月 情報公開分

※2015年7月、2017年2月にも同様に開示

越市長：そうですね、私は「7」というところは入れるべきじゃないかなと思います。

日比市民部長：「7」がいいですか…

越市長：あとは他都市のことをもう少し教えてほしいです。他の都市はこういうようにしていないのだから、遠隔地があるところはどのようにしているのかとか…。

日比市民部長：そうですね、ちょっとそれは類似のところを調べさせていただきます。

山本管理者：そういうところは郵便局はないですか？

日比市民部長：遠隔地には郵便局はあります。

山本管理者：郵便局に委託したらいいのではないですか。

越市長：甲賀市とかは郵便局に委託していますね。じゃあそれをお願いします。

## 2018年8月 情報公開分

林市議の情報公開請求に対する開示

越市長：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

越市長：あとは他都市のことをもう少し教えてほしいです。他の都市はこういうようにしていないのだから、遠隔地があるところはどのようにしているのかとか…。

日比市民部長：そうですね、ちょっとそれは類似のところを調べさせていただきます。

山本管理者：[REDACTED]

日比市民部長：[REDACTED]

山本管理者：[REDACTED]

越市長：[REDACTED]